

今年も長岡東部市政こん談会

創館以来8回目



十月にあった岩村地区市政こん談会に続いて、今度は「長岡東部市政こん談会」が、十一月十八日午前九時半から長岡東部公民館で開かれました。

これは、長岡東部公民館建設の昭和四十五年以来、毎年一回公民館活動の一環として開いているもので、今回が第八回目。当日は地元の人々約二十人、市からは市長ほか関係課長らが出席しました。

この日の会は、黒岩清公民館長の司会で話がすすめられ、まず市

長が、「市民との対話を一人ひとりとする」との時間も、その機会も少ない。今日のこの機会はないがたいこと。同和問題では、民主主義社会にふさわしいものとなるよう努力したいと思えます。

財政再建では、開発公社にある二十七億円の赤字のうち十五億円の借金を、年二億円ずつ十一期間で解消していきたいと考えています。空港問題では、半分が話が進んでいる状態です。その他、今後は排水対策に力点をおいて考えねばならないし、財政、空港にメドが立てば図書館や公立幼稚園など教育問題に力を入れたいと考えています。」と、市政について述べました。

この後は、一問一答形式で話し合いが進められ、次のような意見が出されました。

- 資源ゴミ(金属類)の収集日が木曜日から水曜日に変わりましたがどうしてか。ゴミがたまつたままの収集場所もある。
- 従来は資源ゴミ(金属類)の収集を市の職員がやっていたが十一月から業者委託となり、やむをえず変更となったもの。日時を守って収集場所に出してもらいたい。
- 広域農道の進捗はどうか。五十四年度の事業計画はどうか。五十四年度の事業計画はどうか。五十四年度の事業計画はどうか。
- 現在は比江山の東までできていますので、五十四年度には三富の構造改善事業を主体に、横堀川あたりまでやりたいと考えています。
- 地区公民館の予算が足りないが、大幅増額はできないものか。
- 財政事情もあるが、増額を考えた。今年は昨年よりも六割の伸びで、一館当たり平均三十四万六千
- 地区公民館の修理をしたいが、補助金はつかないものか。
- 集落整備事業で考えてみてはどうか。大改善になると補助対象となる。修繕費は最低五十万円以上です。
- 高知空港拡張のあかつきの税収などの見返りはあるか。
- 固定資産税がかなりの金額になる。飛行機そのものにも税はかかり、航空機燃料費と税など、大幅な増収が期待できる。
- 土佐清水市は現在三年計画で図書館を建設しているが、南国市には図書館建設の計画はあるか。
- 今後は急場しのぎのものではなく、図書館らしいものを計画したい。
- 以上のような意見が出され、活発な市政こん談会を終わりました。

【社会教育課】

領石川橋が完成

広域農道の一環として

「広域農道」の一環として建設を進めていた「領石川橋」がこのほど完成、十一月二十日、現地で落成式が行われました。

広域農道は、浜改田から久礼田に抜ける南北約十一キロ、幅員七・五メートルのもので、県営事業として国・県・市の三者で五十一年度から着工しています。

今回の領石川橋完成は、この事業のなかでの「完成第一号」。当日は、地元の人たちや関係者ら約四十人が出席、神事、テープカット



落成式の様子

岩村地区で「文化祭」

今年で第二回目の「岩村地区文化祭」が、十一月十二日、岩村地区公民館で開かれました。

出品は、写真十九点、書道十一点、俳句十四点、絵画、生花などの他に、民具四十点などで、あいにくの雨天にもかかわらず、終日地区民が観賞に訪れました。

なかでも民具の展示では、私たちの先祖の生活様式を知ろうえでの貴重な道具有り、若い人たちがお年寄りに説明を受ける姿も見られました。(この記事と写真は岩村の石丸益穂)



文化祭の様子

交差点事故を防ごう

南国警察署

南国署管内には三本の国道をはじめ県道、市道などが縦横に走り、その総延長は七百キロを超えています。そのため交差点の数が非常に多くなり、交差点間隔が極端に短くなっています。

その結果として、出合頭衝突をはじめ、追突、右左折時の接触事故など、交差点やその周辺での事故が多発し、人身事故の約半分はこれら交差点やその周辺で起こっています。

道路交通法では、車両の運転者に課せられている交差点付近

- (1) 信号機、道路標識に従うこと
- における「義務」は、三十項目にもおぼろげですが、多発する交差点事故を防ぐために、とくに次のことを守ってください。
- (2) 合図は確実に、余裕をもって
- 右折や左折などの合図は、自分がこれからしようとする意思を相手に知らせることです。そのため
- (3) 正しい左折をする
- 自動車やバイクが右折するとき、あらかじめ手前から道路の中央に寄り、交差点の中心の直近の内側を徐行しなければなりません。この場合交差点を直進したり、左折しようとする車の妨害をしてはいけません。左折するときにはあらかじめ、できる限り道路の左側端に寄り除行しなければなりません。
- (4) 交差点の優先関係を守ること
- 交通整理の行われていない交差点においては、自分からみて左方の車、自分の通っている道路より広い道路にある車が優先します。
- (5) 横断歩行者を保護しよう
- 多くの交差点には横断歩道が設けられています。とくに、右折したり、左折したりする車は横断歩行者に注意しましょう。横断歩道がなくても交差点付近で横断している歩行者がいるときは、その妨げをしてはいけません。